

近畿地方 1か月予報

(9月2日から10月1日までの天候見通し)

平成29年8月31日
大阪管区气象台発表

<特に注意を要する事項>
期間の前半は、気温の変動が大きいでしょう。

<予想される向こう1か月の天候>

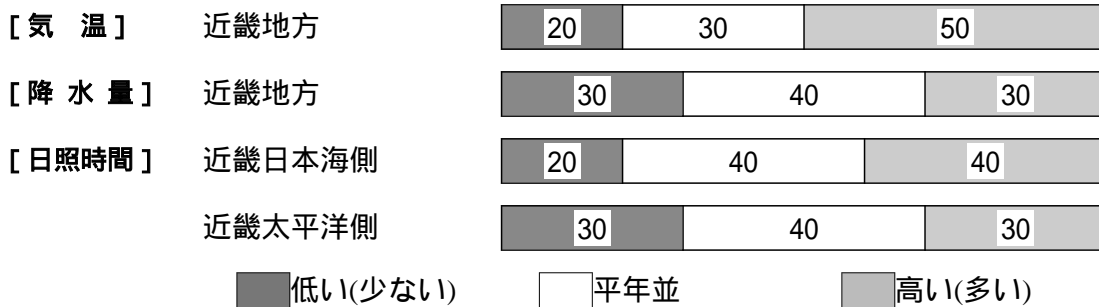
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

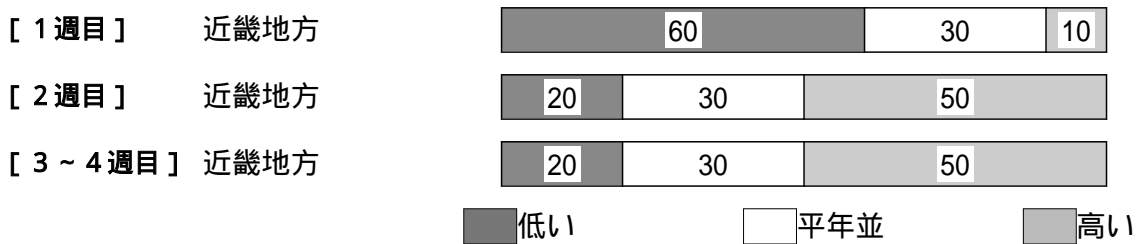
向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。日照時間は、近畿日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、低い確率60%です。2週目は、高い確率50%です。3～4週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月 2日(土)～10月 1日(日)
1週目 : 9月 2日(土)～ 9月 8日(金)
2週目 : 9月 9日(土)～ 9月15日(金)
3～4週目 : 9月16日(土)～ 9月29日(金)

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週木曜日 14時30分 次回は9月7日

3か月予報：9月25日(月) 14時

寒候期予報：9月25日(月) 14時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

(1) 30年平均値（向こう1か月の平均気温、降水量等と1週目、2週目、3～4週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
豊岡	22.1	220.0	117.8	24.4	23.0	20.9
舞鶴	22.5	203.2	130.5	24.7	23.4	21.3
京都	23.9	176.0	137.3	26.3	24.9	22.7
彦根	23.0	167.5	156.0	25.3	24.0	21.9
姫路	23.4	144.3	157.1	25.7	24.3	22.2
神戸	25.0	140.7	159.8	27.0	25.9	23.9
大阪	24.8	156.5	155.9	27.1	25.7	23.6
洲本	23.1	180.2	162.8	25.1	24.0	22.1
和歌山	24.5	178.7	169.2	26.6	25.4	23.4
潮岬	24.3	306.7	171.9	25.9	24.9	23.4
奈良	22.7	160.8	149.7	25.0	23.6	21.5

なお、気温、降水量等の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1981～2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の平均気温、降水量等の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
近畿地方	-0.3～+0.5	75～107	93～105
近畿日本海側	-0.4～+0.5	74～119	93～106
近畿太平洋側	-0.3～+0.5	73～108	93～105

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
近畿地方	-0.4～+0.7	-0.4～+0.7	-0.6～+0.4
近畿日本海側	-0.5～+0.9	-0.5～+0.8	-0.6～+0.4
近畿太平洋側	-0.4～+0.7	-0.4～+0.8	-0.5～+0.4

< 参考資料（利用上の注意） >

- (1) 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- (2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- (3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。